

円空年譜

西暦	年号	年令	事 項
1632	寛永9	1	美濃国(羽島市上中町)に生まれる。
1661	寛文1	30	この頃、伊吹山での修行を終えて下山したと思われる。
1663	寛文3	32	郡上市美並町の神明神社の神像などを彫る。これが円空仏の初見といわれる。
1666	寛文6	35	青森を経て北海道へ渡り、多数の仏像を彫る。
1671	寛文11	40	奈良法隆寺の巡養春塘から血脈を受ける。
1674	延宝2	43	三重県志摩市志摩町三蔵寺の大般若経600巻を修復し、その扉に添絵を描く。
1675	延宝3	44	大峰山に入り、役行者像などを彫る。
1676	延宝4	45	この頃、名古屋市中川区荒子観音寺に滞留し、千数百体の仏像を彫る。
1679	延宝7	48	大津園城寺の尊栄から血脈を受ける。羽島市中観音堂の護法神像を彫る。
1680	延宝8	49	この頃茨城、群馬などで仏像を彫る。
1684	貞享1	53	関市洞戸・高賀神社に滞留する。
1685	貞享2	54	この頃、飛騨に滞留する。
1686	貞享3	55	羽島市狐穴稲荷神社御神体を彫る。長野県木曾郡等覚寺で仏像を彫る。
1689	元禄2	58	滋賀県の伊吹山や栃木県の日光をめぐり多数の仏像を彫る。関市池尻の弥勒寺を再興する。大津園城寺の尊栄大僧正から血脈を受け、弥勒寺は園城寺の末寺となる。
1690	元禄3	59	高山市上宝町観音堂で今上皇帝像を彫り背面に「十万仏作已」と記す。
1691	元禄4	60	下呂市金山町で青面金剛神像を彫る。
1692	元禄5	61	関市洞戸・高賀神社で雨乞いする。「円空歌集」を詠む。
1695	元禄8	64	7月、弟子の円長に血脈を与える。7月15日、関市池尻の長良川畔において入定する。

中観音堂に祀る円空仏群 (17 体)

- 十一面観音像 (222.0 cm) ヒノキ
- 阿弥陀如来像 (66.0 cm) ヒノキ
- 大日如来像 (30.3 cm) ヒノキ
- 不動明王像 (73.9 cm) ヒノキ
- 大黒天像 (57.5 cm) ヒノキ
- 鬼子母神像 (103.5 cm) ヒノキ
- 聖徳太子像 (102.5 cm) ヒノキ
- 弁財天像 (68.5 cm) ヒノキ
- 神像 (59.0 cm) ヒノキ
- 観音像 (114.2 cm) クス
- 護法神像 (45.0 cm) ヒノキ
- 護法神像 (46.2 cm) ヒノキ
- 稻荷像 (29.3 cm) マツ
- 金剛童子像 (20.5 cm) ヒノキ
- 五輪塔 (12.2 cm) ヒノキ
- 神像 (28.0 cm) ヒノキ
- 護法神像 (27.5 cm) ヒノキ

長間薬師寺に祀る円空仏群 (9 体)

- 薬師如来像 (107.0 cm) ヒノキ
- 日光菩薩像 (75.9 cm) ヒノキ
- 月光菩薩像 (76.2 cm) ヒノキ
- 護法神像 (50.8 cm) ヒノキ
- 護法神像 (46.6 cm) ヒノキ
- 護法神像 (34.2 cm) サクラ
- 観音像 (7.9 cm) ヒノキ
- 観音像 (25.8 cm) イチイ
- 阿弥陀如来像 (73.0 cm) ヒノキ

護法神像 (長間薬師寺)

円空はしまマップ



羽島市へのアクセス

- | | | |
|--|--|--|
| 新幹線 岐阜羽島駅 <ul style="list-style-type: none">●名古屋から13分●東京から2時間7分●大阪から52分 | 名神高速道路 岐阜羽島IC <ul style="list-style-type: none">●名古屋I.C.から31分●東京から4時間36分●大阪から1時間50分 | 名鉄竹鼻線 羽島市役所前駅 <ul style="list-style-type: none">●岐阜市から20分 |
|--|--|--|

発刊／羽島市観光協会

岐阜県羽島市竹鼻町 2614 番地
TEL 058-322-2303
<https://hashimakanko.jp>

はしま

円空

ENKU

円空生誕の地はしま

不動明王像（中観音堂）

「円空さん」

羽島の人々は親しみを込めてこう呼んでいます。

「円空さん」は江戸時代、諸国を遊行し、その生涯に12万體もの仏像を彫ったと言われる謎に包まれた修行僧です。彼の彫った仏像は「円空仏」と呼ばれ、独創的で力強くそれでいて素朴な美しさに満ちていて、仏像としてはもちろんのこと芸術としても大変注目されています。

ここ羽島市は「円空上人生誕の地」とされており、円空仏も数多く残されています。

中観音堂の伝説

中村観音堂の本尊を彫刻しようとした円空上人は、その用材を長良川の上流地方で入手、「中村行」と記して川に流した。日ならずして、平方村（現羽島市福寿町平方）付近に流れ着いたのを対岸安八郡中村（現安八町）の人々が発見し大勢で自村の方へ引き上げようとしたが重くて少しも動かなかった。しばらくした頃その報を聞いて駆けつけた中島郡中村（現羽島市上中町中）の人々が引き上げた瞬間、何事もなかったように用材は軽々と上がったという。そこで対岸安八郡中村の人々は何も言わずに立ち去った。中村観音堂の本尊である十一面観音像は、背面に四角にくりぬいたあとがあり、その中に円空上人の使った鉋が入っているという。しかし、これを見た者は目がつぶれるといわれていてまだ見た者はいない。

※平成30年12月、中観音堂の堂守を務める地元有志らにより、十一面観音像の胎内納入品の確認が行われました。納入されていたものは次のとおりです。阿弥陀如来像／古鏡／筆の穂・軸の先端／石／水晶／古銭／起請文

聖徳太子像



鬼子母神像



中観音堂

開館時間 9時～17時
休館日 月曜日
入館料
大人300円
団体（30人以上）150円
場所
羽島市上中町中526
☎（058）398-6264

長間薬師寺

要予約
場所
羽島市上中町長間893
☎（058）392-3210



〈薬師三尊像〉
日光菩薩像（左）
薬師如来像（中）
月光菩薩像（右）



護法神像

長間村薬師寺の本尊である薬師如来は、円空上人が在郷中に年老いた乞食がいるのをあわれに思って、与えたものという。その乞食は、毎日その仏像を背負って歩いてまわっていたが、急にその姿が見えなくなった。そしてそれと同時に、付近を流れる逆川の真菰の茂る川端に毎夜火の玉が出るという噂が広まった。このため村役たちは、青年を集めてその付近を調べさせたところ、真菰の中に薬師像を抱えて死んでいる乞食を発見。火の玉の正体は薬師像から発したものであった。村人たちは驚いて、直ちにその付近を切り拓き御堂を建て薬師像を祀った。御堂の寺号は放光山と定めたが、その後現地に移転し、浄光山と改称した。

長間薬師寺の伝説